

## IT レポート

上屋敷測量設計有限公司

### 1. 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について

#### ① デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について:

・「i-Construction」の取り組み: 日本政府や国土交通省による「i-Construction」の取り組みは、測量業界にデジタル変革をもたらしている。デジタル技術の導入は、高速で高精度の測量が求められる現代の建設業界で、生産性の向上やコスト削減を実現するための鍵となる。

・競争環境\*\*: 最新の3Dレーザースキャナーや3D点群処理システムなどの技術の導入は、競争優位性を維持・拡大するための必要不可欠な手段となっている。これらの技術を有効活用することで、従来の方法よりも高速かつ高精度の測量が可能となり、受注機会の増加や新しい市場への進出が期待される。

#### ② 経営ビジョンやビジネスモデル:

・経営ビジョン: 地域社会とともに成長し続けることを目指して、最先端のデジタル技術を活用しながら、住民の安全や地域の発展、土地環境の向上を追求する。

・ビジネスモデル: 幅広い測量業務を提供する中で、最新のデジタル技術を活用して、より迅速かつ高精度なサービスを提供することで、顧客満足度の向上とともに、収益の拡大を図る。

### 2. 経営ビジョンやビジネスモデル実現のための戦略:

・技術導入: 測量のイノベーションとして、最新の3Dレーザースキャナー、トータルステーション、3D点群処理システムの導入を進め、これによって提供するサービスの質や範囲を拡大する。

・人材教育: 最新の技術を最大限に活用するために、従業員への研修や教育を強化する。これにより、技術の更新や新しい技術の導入に迅速に対応できる組織を作る。

・業界連携: 所属団体との連携を深化させることで、業界の最新の動向やニーズをキャッチアップし、これをビジネスに反映させる。

・顧客との連携強化: 顧客ニーズに応じたサービスの提供や、新しい技術を活用した新サービスの提案を行い、顧客満足度の向上を図る。

### 3. 戦略を推進するための実施体制

上屋敷測量設計有限公司

代表取締役 C I O 上屋敷 和志